

西洋建築史第9回

バロック1 - 反宗教改革の建築

中島 智章

序.反宗教改革から生まれたローマ・バロック

宗教改革

レオ10世 Leo Xの免罪符発行 マルティン・ルター Martin LUTHERの抗議(1517) プロテスタント教会の発展(Luther派、ルター Calvin派、カルヴァン 英国国教会)

反宗教改革:トレント公会議(1545~63) 教皇庁の改革 = 聖省組織の整備 + イエズ会の設立(1534)と布教活動

巡礼地としてのローマを整備 シクストゥス5世 Sixtus Vの都市計画、サン・ピエトロ大聖堂のクーポラ完成、ラテラーノ宮殿再建

1.サン・ピエトロ大聖堂の膨張

BRAMANTEの計画案 Michelangeloのギリシア十字形集中プラン

カトリック教会の儀式の都合によりラテン十字形平面に増築される

Carlo MADERNO(1556-1629)

* 身廊・側廊(1614-24) 身廊幅25.8m、側廊含60m、袖廊137m、奥行186m、高45.8m

* ファサード コリント式ジャイアント・オーダーの使用

ピラスターから、ほとんど独立円柱に近い3/4柱まで、立体感と柱間感覚を自在に操り、ダイナミズムと中心性を付与
Gianlorenzo BERNINI(1598-1680)

* バルダッキーノ(天蓋) ねじり柱の使用

* バチカン宮殿スカラ・レジア(1663-1666) 先すぼまりの階段

* 楕円形広場・列柱(1656-67) 長径200m、短径165m、高さ18.3m円柱284本、角柱88本

大聖堂本体は全長211.5m、全幅156m、面積49.737m²、正面間口115m 総全長490m、全幅250m

クーポラ(ドーム)建築が盛んに 二重殻、三重殻構造の発展 = 外部と内部の形の食違い、光の演出

Jules HARDOUIN-MANSART(1646-1708): 廃兵院(hôtel des invalides)のサン・ルイ礼拝堂(パリ、1677-1707)

クリストファー・レン Sir Christopher WREN(1632-1723): セント・ポール大聖堂(ロンドン、1675-1710)・・・ささやきの回廊

2.イエズス会とイル・ジェズ形教会堂

ヴィニョーラ VIGNOLA: イル・ジェズ教会 側廊=身廊=側廊からなる教会断面を覆う古典主義ファサードの試み

(ただし、イル・ジェズ聖堂では単廊式となっていて、両側に小礼拝堂が連なる形式)

ファサードを2層構成とし、それぞれの層にオーダー+ファサード2層目両脇に渦巻形装飾(ヴォリュート)

ただし、ヴィニョーラ VIGNOLAとその弟子デッラ・ポルタ Della PORTAによるファサード自体はマニエリスム様式 双子柱ながら柱間寸法は一定

イエズス会の教会堂建築の内部空間 騙し絵技法(トロンプ・ルイユ) trompe-l'oeilを駆使した天井画 = 建築と彫刻と絵画が渾然一体となった世界

アンドレア・ポッツォ Andrea POZZO(1642-1709) 透視図法の名手といわれたイエズス会士

イル・ジェズ聖堂内のサンティニャーツィオ(聖イグナチオ)礼拝堂(1700)、サンティニャーツィオ聖堂天井画など

イル・ジェズ形聖堂の普及 渦巻形装飾+円柱・ピラスターを様々に壁から突出させファサードに表情と中心性を付与

MADERNO: サンタ・スザンナ聖堂ファサード(1597-1603) イル・ジェズ形教会堂の典型だが、バロックへの第一歩

端部ではピラスター、中心部では独立円柱に近い造形で中心性を高める

柱と柱の間隔も一定ではない イル・ジェズ教会堂と対照的

BROSSE: サン・ジェルヴェ教会堂(1616-21) オーダーの三層構成 = ドリス式、イオニア式、コリント式

LE MERCIER: ソルボンヌ大学付属聖堂(1635-42)、ヴァル・ドゥ・グラース修道院聖堂(1645頃、MANSART設計)

3.歪んだ真珠の建築 - ベルニーニとボッロミーニ -

バロッコ Barocco(葡) = 歪んだ真珠 バロック Baroque(仏) = 楕円、うねる壁などを用いたダイナミックな空間への指向

スタティックなルネサンス建築と好対照

= 円や正方形などの均質な幾何学図形、平面的ファサード、等間隔な柱間寸法

BERNINI: ナヴォナ広場の四大河群像(ドナウ、インダス、ナイル、ラプラタ) 四大陸(欧亜阿米)の各大河の擬人像

* サンタンドレア・アル・キリナーレ教会堂(1658-70)

コリント式ジャイアント・オーダーのピラスターとイオニア式オーダーの円柱を同一ファサードで併用

楕円形クーポラ(ドーム)を横長に配置した内部空間

とりわけ祭壇周りで絵画と彫刻と建築が渾然一体となった空間が展開

外部からの光を劇的に内部に導いたダイナミックな空間

* パラッツォ・バルベリーニ(1628-33) MADERNO、BERNINI、BORROMINIの三巨匠による共同事業

ピエトロ・ベッレッティニ・ダ・コルトーナ Pietro BERRETTINI da CORTONAの大フレスコ天井画 画家としても著名

Francesco BORROMINI(1599-1667): サンティーヴォ・アッラ・サピエンツァ教会堂、サンタニェーゼ教会堂

* サン・カルロ・アッレ・クワットロ・フォンターネ修道院聖堂(1638-46、ファサード 1665-68)

= 四つの泉のあるサン・カルロ聖堂 = サン・カルリーノ聖堂ともいう 聖カルロ・ボッロミーニに捧げられた聖堂

二層からなるファサードのうち、下層のみがボッロミーニ自らの作

うねるファサード + コリント式ジャイアント・オーダーと通常のスケールのオーダーの併用

ミケランジェロのパラッツォ・デイ・コンセルヴァトリーリのファサードのローマ・バロック的翻案

正三角形と円などの幾何学図形を複雑に組み合わせた内部空間 + 楕円形クーポラを縦長に配置

* パラッツォ・スパダ柱廊(1653): 透視図法を逆手にとり、奥にいくほど幅と高さを減じて実際より奥行があるようにみえる

ピエトロ・ベッレッティニ・ダ・コルトーナ Pietro BERRETTINI da CORTONA(1596-1669): * サンタ・マリア・デッラ・パーチェ教会堂(1656-59)

ドリス式円柱によって支えられた円形に張り出したポーチが印象的

カマルティノ・ロンギ Martino LONGHI, il Giovane(1602-60): サンティ・ヴィンチェンツォ・エ・アナスタジオ教会堂(1646-1650)

カルロ・ライナルディ Carlo RAINALDI(1611-91): ポポロ広場の双子の教会堂

ポポロ広場 = リペッタ通り、コルソ通り、バブイーノ通りの出発点 1589年にシクストゥス5世が整備

サンタ・マリア・デイ・ミラコリ教会堂(1675-81) + サンタ・マリア・イン・モンテサント教会堂(1662-75)

4.ローマ・バロック建築の伝播

イタリア各地のバロック建築

バルダッサーレ・ロンゲーナ Baldassare LONGHENA(1598-1682): サンタ・マリア・デッラ・サルテーテ教会堂(1631-87、ヴェネツィア)

Guarino GUARINI(1624-83) トリノ・バロック全盛期を支えた建築家

司教座聖堂サンティッシマ・シンドネ礼拝堂(1667-94)、サン・ロレンツォ教会堂(1668-87)、パラッツォ・カリニャーノ

新教から奪還された南ドイツ

コスマス・ダミアン・アザム Cosmas Damian ASAM(1686-1739) + エーギト・クヴィリン・アザム Egid Quirin ASAM(1692-1750): ザンクト・ヨーハン・ネポムーク聖堂(1733-46)

Johann Balthasar NEUMANN(1687-1753): フィーアツェーンハイリゲン巡礼聖堂(1743-72)

ヴィーンを中心とする皇帝領

Johann Bernhard FISCHER VON ERLACH(1656-1723): ザンクト・カール・ボロメウス聖堂 = カールスキルヒェ(1716-25)

古代ローマ建築 = 神殿風正面、記念柱モチーフ)

ローマ・バロック建築 = 楕円形クーポラ、クーポラ天井画) ローマ留学の成果

* FISCHER VON ERLACH: 『歴史的建築の構想』注解、中村恵三編著、中央公論美術出版、東京、1995年